



みんなで作ろう、未来

北京女性会議から25年を控えて

2019年10月19日(土)

北九州市立 男女共同参画センター・ムーブ 5階
大セミナールーム(他)

参加費
無料

日英
同時通訳

大セミナールーム

10:00~10:10 開会式

10:10~10:30 「北京+25」に向けて~日本が達成したものと残された課題~
●内閣府男女共同参画局総務課企画官

特別
ゲスト

吉田 真晃氏

10:30~11:10 基調講演-Keynote Speech-

北京女性会議から25年を控えて

- 元国連女性の地位委員会議長・元高等教育委員長(高等教育大臣)

パトリシア・リクアナン氏
[フィリピン]



11:10~11:45 KFAW海外通信員による現地報告

北京会議を受けて~自身の取り組みについて~

- ブータン国営放送局アンカー チョエク氏(ブータン)
- ジェンダー専門家 マリスナ・ユリアンティ氏(インドネシア)

11:45~12:10 市民社会組織からの参加者紹介

・各市民組織紹介 ・午後の分科会の進め方と分科会登壇者の紹介

13:00~15:00 分科会-Workshop-

みんなの未来を、ジェンダーレンズを通して、一緒に考えましょう!



★第1分科会・・・「働くということ」

賃金などの報酬を得ての仕事と家庭での家事、育児、介護のような無報酬の仕事について一緒に考えましょう。

★第2分科会・・・「地球で生きる」

今住んでいる地球について、未来も豊かであり続けるために私たちができることを一緒に考えましょう。

★第3分科会・・・「未来を考える」(ユース対象)

発表者それぞれのユニークな活動を紹介します。ユースが考える「未来」を自由に話し合しましょう。

15:20~16:30 全体会-Plenary Session-

16:30

閉会

主催 公益財団法人 アジア女性交流・研究フォーラム

後援 内閣府、外務省、厚生労働省、文部科学省、JICA九州、福岡県、北九州市、北九州市教育委員会

みんなで作ろう、未来 北京女性会議から25年を控えて

1995年9月の北京女性会議から来年は25年となります。今日、「ジェンダー平等と女性・少女のエンパワーメント」は、持続可能な開発目標 (SDGs) のSDG5であり、SDGsの全分野で必要・不可欠な課題と捉えられています。「アジア女性会議-北九州」は、今年は第30回という節目の開催となり、1990年に市民社会組織 (CSO) として誕生したアジア女性交流・研究フォーラムは、今後の世界的潮流を踏まえ、市民や市民社会組織と共に、女性や少女のエンパワーメントやジェンダー平等に今後何が必要で、こういった行動をしていくのかを共に考えます。

北京女性会議とは？

正式には、第4回世界女性会議といい、1995年中国・北京で、国連が主催した、「女性」に関する政府間会合を指します。EUも含め世界190カ国及び国連諸機関等からの出席がありました。並行してNGOフォーラムも開催され、あわせて約5万人が参加しました。北京会議は、全女性の地位向上のための目標、すなわち、平等、開発及び平和達成へのさらなる行動を取るために開かれ、「北京宣言」と貧困、人権を含む12重大問題領域を明記した『行動綱領』(女性のエンパワーメントに関するアジェンダ) が採択されました。

Program

基調講演 - Keynote Speech -

10:00~10:10 開会式

10:10~10:30 「北京+25」に向けて
～日本が達成したものと残された課題～

特別
ゲスト

● 内閣府男女共同参画局総務課企画官 吉田 真晃氏

10:30~11:10 基調講演 同時通訳

北京女性会議から25年を控えて

パトリア・リクアナン氏 (Ms. Patricia LICUANAN) [フィリピン]

● 元国連女性の地位委員会議長・元高等教育委員長 (高等教育大臣)

社会心理学者、教育者、女性の権利およびエンパワーメントの活動家。アテネオ・デ・マニラ大学で、心理学部長ならびに教育担当副学長を務める。ミリアム大学学長を経て、2010年7月から2018年1月まで、フィリピン高等教育委員会 (CHED) の委員長 (高等教育大臣) を務めた。女性問題に関する活動としては、フィリピン女性の役割に関する国家委員会 (NCRFW)、現在のフィリピン女性委員会 (PCW) で委員長を歴任。北京女性会議においては、その準備委員会である国連女性の地位委員会 (UNCSW) で議長を務め、「北京宣言及び行動綱領」の交渉を実施する主要委員会として議長を務めた。



11:10~11:45 KFAW海外通信員による現地報告 同時通訳

北京会議を受けて～自身の取り組みについて～ ※現地からWEB会議システムを使つての参加となります。

● 第28期海外通信員

チョエク氏 (Mr. CHAYKU)
〔ブータン〕

ブータン国営放送局のジャーナリストであり、エディター、ニュースキャスターも務める。KFAW通信員として女性の健康、ジェンダーやエンパワーメントについて寄稿した。2017年と2018年にはブータン・ジャーナリスト協会からエクセレンス・ジャーナリズム賞を受賞。



● 第24・27期海外通信員

マリスナ・ユリアンティ氏
(Ms. Marisna YULIANTI)
〔インドネシア〕

ジェンダースペシャリスト。教育、再生可能エネルギー、持続可能な農業など幅広い分野でジェンダー主流化を進める。また女性の経済的エンパワーメントの専門家であり、インドネシアで女性経営事業の政策研究に携わった。



11:45~12:10 市民社会組織からの参加者紹介
午後の分科会の進め方と分科会登壇者の紹介



分科会 - Workshop -

3つの分科会を開催します。分科会の進め方やテーマについて説明した後に、専門家による話、各発表者による取り組みの紹介があります。その後、提示したテーマに沿って参加者を交えてのディスカッションを行います。

第1分科会 …… 企画ルーム

テーマ「働くということ」

報酬を得る仕事や、SDGsで認識・評価が求められている家事、育児、介護などの無報酬の仕事もあります。働き方も含め、ジェンダーの視点から、広く「仕事」を考えます。

モデレーター

- 北九州市立大学 法学部 教授

田村 慶子氏



九州大学大学院修了、博士(法学)。元シンガポール国立大学客員研究員。専門は東南アジア地域研究・国際関係論。主な著書は「多民族国家シンガポールの政治と言語―「消滅」した南洋大学の25年」(明石書店)、「東南アジアのNGOとジェンダー」(明石書店)。

専門家

- (公財)アジア女性交流・研究フォーラム 理事長

堀内 光子



児童労働ネットワーク代表。ジェンダー問題、仕事・労働問題などを専門とし、国連事務局(社会問題担当官)、国際労働機関(ILO)事務局長補、内閣総理大臣官房参事官兼内閣審議官、国連日本政府代表部公使などを歴任。

発表者

- 日本BPW北九州クラブ 会長

徳永 康子氏



- 山九株式会社 プラント事業部 プラント事業統括部 能力開発グループマネージャー

古賀 芳美氏



- 地球交遊クラブ 北九州国際交流団体 ネットワーク(キーネット) 会長

服部 祐充子氏



第2分科会 …… 小セミナールーム

テーマ「地球で生きる」

「地球で生きる」というテーマで、自身の日々の生活を通して、後の世代も住み続けられる環境やジェンダー平等について考えます。

モデレーター

- 北九州市立大学 特任教授

近藤 倫明氏



1952年生まれ。九州大学大学院修了(文学博士)。専門は認知心理学。同大学助手、北九州市立大学教授、文学部長、副学長、学長を経て現職。現在、北九州ESD協議会代表、文部科学省国立大学法人評価委員、大学改革支援・学位授与機構評価委員、九州工業大学監事など。

専門家

- JAWW(日本女性監視機構) 副代表

織田 由紀子氏



北九州サステナビリティ研究所理事。元日本赤十字九州国際看護大学教員、元JICAタイ人身取引被害者保護・自立支援促進プロジェクト専門家。元アジア女性・交流研究フォーラム研究員。専門・関心分野:ジェンダーと開発・環境。

発表者

- 北九州市食生活改善推進員協議会 八幡東区会長

長尾 由起子氏



- 青い地球の会 ブルーアース 代表

後藤 加奈子氏



- 若松秋桜会 代表 (北九州ESD協議会会員)

久永 恵美子氏



- econnect project (エコネクトプロジェクト) 北九州市立霧丘中学校 特別支援学級



第3分科会 …… 大セミナールーム

テーマ「未来を考える」

コース対象
同時通訳

ユースの考える「未来」について自由討論。東京でユニークな活動を行う高校生の糸井龍三氏をはじめ、北九州の高校生や大学生たちの活動や、未来に向けて考えていることを自由に発表し、話し合います。

モデレーター

- 西日本新聞社グループ 経営委員会兼経営企画局

甲木 正子氏



1988年、男女雇用機会均等法2期生として西日本新聞社に入社。経済部、東京支社報道部(経済担当)、韓国・釜山駐在記者など約25年の記者生活を経て2013年3月から北九州本社営業部長。2018年8月より現職。

専門家

- フィリピン/元国連女性の地位委員会議長・元高等教育委員長(高等教育大臣)

パトリシア・リクアナン氏

(Ms. Patricia LICUANAN)



発表者

- 糸井塾 塾長 慶應義塾志木高等学校 3年

糸井 龍三氏



- 自由ヶ丘 高等学校 2年生



- 北九州市立大学 ESDプロモート 実習



- 下関市立大学 宮崎 純氏



全体会 - Plenary Session -

各分科会で議論した成果を報告し、パトリシア・リクアナン氏が総括します。

- 15:20~16:30 **全体会** ●第1分科会報告者 田村 慶子氏 ●コーディネーター 堀内 光子
●第2分科会報告者 近藤 倫明氏
●第3分科会報告者 甲木 正子氏

16:30 **閉会**

分科会発表団体・発表者プロフィール

.....〈第1分科会〉.....

日本BPW北九州クラブ 会長
徳永 康子氏

1988年に設立し、働く女性の地位向上を目指し活動。近年、市内大学でワーク・ライフ・バランスの啓発(11年目)やイコール・ペイ・デイのキャンペーンを実施。現在、北九州男女共同参画審議会委員。

山九株式会社
プラント事業部 プラント事業統括部
能力開発グループマネージャー
古賀 芳美氏

1985年、山九株式会社入社。大型プラント建設部門に24年間従事。2013年より同事業部門の人財育成施策の企画・立案、実践。管理者研修、内発的意欲向上研修等の講師を担当。近年はダイバーシティの観点から女性活躍推進を本社並びに他部支店と連携を取りながら実施。

地球交遊クラブ
北九州国際交流団体ネットワーク(キーネット) 会長
服部 祐充子氏

留学生・大学生・市民との協働により「わたしたちが必要と感じたことを実践する」を切り口に、多世代のネットワークを活かして様々なチャレンジしている。東ティモール産フェアトレードコーヒーの普及、ドキュメンタリー映画の上映活動にも取り組む。この春からは、北九州に新しいムーブメントを起こす活動にも参加。気づきと行動のめたらす未来を夢見て活動中。

.....〈第2分科会〉.....

北九州食生活改善推進員協議会 八幡東区会長
長尾 由起子氏

昭和47年に発足した、北九州食生活改善推進員協議会は「私たちの健康は私たちの手で」をスローガンに、地域に根ざした「食育」事業を推進し、「食育アドバイザー」として市民の健康づくり活動を行っている。

青い地球の会 ブルーアース 代表
後藤 加奈子氏

2008年、北九州ミズ21委員会任期中にESDと出会い、市に提言するとともに市民団体「青い地球の会ブルーアース」を立ち上げた。小学校や保・幼稚園等でESDを主眼に置いた授業を実施している。
※Education for Sustainable Development:持続可能な開発のための教育

若松秋桜会 代表(北九州ESD協議会会員)
久永 恵美子氏

1994年に若松区で道路沿いのコスモス栽培を開始。廃傘を利用したエコバッグ作りなど、「未来の子供たちに素晴らしい地球環境をそのまま贈る」ために、女性による環境保全活動を続けている。

econnect project(エコネクトプロジェクト)
北九州市立霧丘中学校 特別支援学級

生徒の「自立」や「社会参加」に向け、被災地の特産品を使用した「はちみつレモン販売」などの社会貢献に取り組むことで、人とつながりや発信することの大切さに気づき、地域における特別支援教育への理解、交流を促進している。

.....〈第3分科会〉.....

糸井塾 塾長/慶應義塾志木高等学校 3年
糸井 龍三氏

東京都在住。3人兄弟の末っ子(姉2人)として、両親や姉達から家事を仕込まれながら育つ。この経験から家事は人を育てるという事を実感する。2017年11月「糸井塾」を設立し、主に小中学生を対象に、家事講座を始める。

自由ヶ丘高等学校2年生

自由ヶ丘高等学校では、総合的探求の時間において、SDGsに関する学習を進めている。ジェンダーチームは、7月に世界6カ国の行政官の方々とジェンダーに関する様々な問題について議論を行った。

北九州市立大学
ESDプロモート実習

主にイベントの企画運営や活動発表等を通して市民へのESDやSDGsの周知を目的に活動している。地球上の問題をまずは知ってもらい、自分事と捉え、小さなことから行動できるきっかけ作りが出来ればと考えている。

下関市立大学
宮崎 純氏

佐賀県出身で現在は北九州在住。下関市立大学で国際協力や地域創生、ボランティアの分野で活動を行い、現在は休学して教育の分野に携わる。夢は「大切な人を笑顔にして自分も幸せになること」。

申込方法

■電話・FAX・Email・ホームページでお申し込みください。(事前申し込みが必要です)

- TEL 093-583-3434 ■FAX 093-583-5195
- Email exchange@kfaw.or.jp
- ホームページ <http://www.kfaw.or.jp>

申し込み
フォームへ
アクセス!



- 託児あり(6カ月~就学前) / 必要な方は、10月11日(金)までにお申し込みください(1人500円)
- 手話通訳・要約筆記あり / 必要な方は、10月2日(水)までにお申し込みください

■参加したい項目に○を記入してください

基調講演に参加 (10:00~12:10)		分科会に参加 (13:00~15:00)	▶ 第1分科会「働くということ」
			▶ 第2分科会「地球で生きる」
全体会に参加 (15:20~16:30)			▶ 第3分科会「未来を考える」 (ユース対象)

※分科会に参加を希望する方は、どの分科会に参加するか○を記入してください

お名前	ご住所	お電話番号	託児希望	手話通訳・要約筆記
			有・無	手話通訳要・要約筆記要
			有・無	手話通訳要・要約筆記要
			有・無	手話通訳要・要約筆記要